

仲山 忠克さん、 憲法記念日に来水！

沖縄基地の核心を語る！！

と き：5月3日（憲法記念日）10:30～15:00
と ころ：水戸市千波公園はなみずき広場

記念講演 13:00～

講 師：仲山 忠克さん

テーマ：「もう基地は要らない！」

☆憲法川柳入選発表！ ☆お楽しみ抽選会
☆沖縄物産店その他模擬店

プロフィール

1980年弁護士登録。沖縄弁護士会、ゆい法律事務所所属。反戦地主弁護士団弁護士、自由法曹団沖縄支部事務局長、沖縄革新懇代表世話人、沖縄県反貧困ネットワーク代表など。

弁護士1年目から沖縄の米軍関連の事件を扱い、常に米軍と関わってきた。これまで太田知事の「代理署名訴訟」、米軍ヘリパッド建設反対訴訟等の代理人を手がける。

主催：2010年 憲法フェスティバル実行委員会
代表：長田満江 田村武夫
TEL 029-231-4555 FAX 029-232-0532
E-mail kenpou_ibaraki@yahoo.co.jp

午前の部 語り合いの広場

- 9条の会交流会
- 茨城空港と基地問題
- 音楽の広場
- ヒバクシャと語ろう核兵器のない世界

昼食時

- ☆沖縄県人会によるエイサーの舞
- ☆Blue Sonic Jazz Orchestra (高校生Big Band Jazz)

普天間基地の即時・無条件撤去を！

4・14 中央集会

と き：4月14日(水)午後6時30分～
と ころ：日比谷野外音楽堂（集会終了後国会請願デモ）
内 容：●国会情勢報告●連帯あいさつ●沖縄代表団の報告
主 催：沖縄県民と連体し、普天間基地の即時・無条件撤去を求める4・14中央集会実行委員会
(呼びかけ団体)全国労働組合総連合、安保破棄中央実行委員会

県平和委員会から植田代表理事が参加します。

アピール：核兵器のない世界を 茨城県内の市町村長21氏が署名

水戸市長 加藤 浩一
石岡市長 久保田 健一郎
茨城町長 小林 宣夫
小美玉市長 島田 穰一
かすみがうら市長 坪井 透
古賀市長 白戸 仲久
桜川市長 中田 裕
下妻市長 小倉 敏雄
常総市長 長谷川 典子
筑西市長 吉澤 範夫
つくばみらい市長 飯島 善
土浦市長 中川 清
東海村長 村上 達也
那珂市長 小宅 近昭
坂東市長 吉原 英一
常陸太田市長 大久保 太一
常陸大宮市長 三次 真一郎
日立市長 檜村 千秋
美浦村長 中島 栄
結城市長 小西 栄造
龍ヶ崎市長 中山 一生

3/25 現在
46,843 筆

署名ありがとうございました。

次号は署名していただいた市町村議長を掲載します。

平和新聞

2010年4月5日（月曜日）
1922号（毎月5,15,25日発行）

1950年12月16日第三種郵便物許可 発行 日本平和委員会
1部140円 月額400円 〒105-0014 東京都港区芝1-4-9 平和会館
(郵送料月額120円) 電話03(3451)6377 FAX03(3451)6277

平和かわら版

平和新聞茨城版 No. 560
2010.4/5

発行：茨城県平和委員会 〒310-0912 水戸市見川5-127-281
Tel/Fax 029-251-2806 E-mail ibahei@amber.plala.or.jp

2010 憲法フェスティバルを成功させよう！

< 10年度運動方針案 >

2010年度運動方針案 (たたき台)

3月13日の常任理事会で、6月19日開催の県大会に提案する運動方針案を4月17日の理事会前に配布することが申し合わされました。代表理事懇談会で討議されたものを事務局で整理しました。案といってもタタキ台です。理事会の討議を受けて文章化します。決算・予算及び役員については当日提案いたします。活動のまとめは、次号「かわら版」に掲載します。なお、情勢のところは紙面の都合で項目だけにさせていただきました。また、沖縄基地問題やNPT再検討会議の動きによって大きく局面が変わりますので文章化は県大会ぎりぎりになります。

< 平和情勢を話し合い、運動の力にしよう >

1. 1990年の湾岸戦争は国際社会の基盤を大きく変えた。そして現在につながっている。
 - (1) 91年ソ連解体と「新世界秩序確立」をめざす唯一の軍事・政治・経済大国アメリカ。
 - (2) アメリカに追随してきた自公内閣の日米同盟強化と憲法蹂躪。
 - ① 自衛隊の海外派兵・PKO法（92年）・「戦時=有事法制3法」（03）
 - ② 日米安全保障共同宣言（96年）・新ガイドライン（97年）・「周辺事態安全確保法」（99年）「テロ対策特別措置法」（01年）・「イラク特別措置法」（03年）
2. 憲法改正を打ち破った国民的市民運動
 - (1) 90年代はじめのバブル経済の絶頂と崩壊と小泉内閣成立。改憲勢力の強まり。
 - (2) 憲法九条危機にたいする国民的市民運動の前進。「9条の会」（04年）など。
 - (3) 参議院選挙（07年）で改憲勢力大敗北。

3. 平和に息づく現在の情勢

- (1) 弱肉強食の経済市場主義の破綻と、大義名なきイラク戦争。
- (2) ヨーロッパ・中南米・アジアのアメリカ離れ。
- (3) オバマ大統領の出現とアメリカの建て直し世界戦略。その「期待と限界」
- (4) 核兵器廃絶への前進・プラハ宣言（09年）
NPT再検討会議・米ロ新核軍縮協定（10年）
- (5) 鳩山民主党政権の誕生そして、沖縄基地問題と日米安保条約・核密約。

4. 「核兵器廃絶そして軍事同盟解消、核も基地もない世界」への平和運動の前進。

5. 確信をもって運動方針を創り出していこう

「核も基地もない平和な日本」という大きな目標が日々の活動領域になってきていることに自信をもとう。

< 具体的な運動方針 >

1. 核廃絶のための運動

- (1) すべての首長及び議長から署名をもらおう
住民の代表としての首長・議長はその自治体で特別の意味をもつ。3/25現在、県内市町村の21名の首長、20名の議長からいただいた署名を全首長・議長にひろげていきます。教育長・小中高の校長、商工会議所など経済団体・医師会などにも働きかける。その署名を地域の人々に知らせ、核廃絶の平和行政を進めていく。
 - (2) 国民平和行進及び原水禁世界大会:地域実行委員会の運動を強化していく。

2. 沖縄基地撤去と安保条約反対の取り組み

- (1) 学習と沖縄基地視察：8月下旬に沖縄基地視察をおこなう。
- (2) 10月に全県の規模で沖縄基地と安保問題で学習会を開催する。

3. 戦争と平和を考える特別旬間（8月上中旬）を成功させる：各地域の特徴を活かして出来るだけ多くの地域で開催する。

4. 「憲法守ろう」から「憲法を活かそう」の運動に：自衛隊の海外派兵反対、軍事費削減など憲法の内容を豊かにする運動を「9条の会」、その他のみなさんと共同していきます。

5. 秋の一斉宣伝行動：ここ数年、宣伝カーで実施してきたが今年はチラシ・ハンドマイク・宣伝カーなど各地域にあったやり方で実行します。10月の全県学習会の宣伝も兼ねたチラシなど必要なものは県用意します。

6. 12月の新聞意見広告は「沖縄と安保」ないし「核廃絶」を柱として取り組む。

- (1) 団体・個人賛同の広がりを創り出していく。
- (2) 広告紙を購読していない人にも、意見広告の内容をチラシにして宣伝していく。

7. 百里基地反対の取り組み：反対同盟、百里基地反対茨城県連絡協議会を中心に話し合い今後の取り組みを立てて行く。

8. 日本平和大会を成功させよう：11月20日(土)～23日(火) (長崎県佐世保市)

9. 仲間づくりと平和新聞の読者拡大をすすめよう。

- (1) 1年半以上、毎月5名の仲間を持続して増やしていることをお互いに評価してさらに前進させていきます。
- (2) 新しい組織づくりや困難な組織については組織強化委員会で検討対応していく。
- (3) 平和新聞の読者が非常に少ない。各平和委員会で増やしていくよう努力していく。

10. 平和かわら版のいっそうの充実を：

- (1) 編集委員会の機能を高めひとりでも多くの会員に親しまれるように改善努力していく。
- (2) また、37の平和委員会で手配り体制が確立しているのは22の平和委員会です。さらに進めます。

11. 財政：収入予算の約2割強が意見広告などの事業収入に依存している一方で、支出面で人件費その他の経費を大幅に節減している状況が続いている。中長期的に財政確立のため検討していく。

12. 事務局体制の強化：事務局長交代という新たな事態で体制強化のため組織強化委員会及び常任理事会で検討していく。

13. 憲法フェスティバル：県大会前の取り組みですが、理事会で成功のための具体化をはかります。

以上